

令和 5 年度 第 3 回小委員会のテーマ及び論点

(8 月 24 日開催)

【テーマⅠ】

金融所得課税・代替ミニマム税の在り方

< 論点 >

所得再分配機能を高める観点及び所得階層間における税負担の公平性という観点から、個人所得課税はどうあるべきか。

< 検討項目 >

- 金融所得への課税の在り方
 - ・ 分離課税方式、総合課税方式
 - ・ 税率の設定（水準、一定率）
 - ・ 中低所得者への配慮、投資の促進
- 極めて高い水準の所得に対する負担の適正化の在り方
 - ・ 令和 5 年度税制改正
 - ・ 諸外国における追加的課税

【テーマⅡ】

宿泊税の在り方

< 論点 >

インバウンドをはじめとする旅行需要や、外資系・高級リゾートなどの高価格帯ホテルや民泊等の宿泊施設の多様化、観光施策の充実など、社会経済情勢の変化を踏まえ、観光振興財源である宿泊税はどうあるべきか。

< 検討項目 >

- 応益課税、応能課税の観点と税負担・課税免除の在り方
- 公平性の観点と課税対象の在り方
(民泊・簡易宿所、修学旅行の扱い)
- 法定外目的税としての税の在り方
(観光振興費と税収の規模、用途の在り方)

【テーマⅢ】

「ふるさと納税」について

昨今の状況を踏まえつつ、これまでの報告をベースに、改めて「ふるさと納税」についてどう考えるか。